



新入生歓迎会

札幌保健医療大学広報誌

WILL

2016.05

No. 3



学長挨拶

札幌保健医療大学 学長
稲葉 佳江

2016年4月3日、札幌保健医療大学入学式を挙
行し、第4期生106名が入学しました。多くの保護
者の方々にご参列頂き感謝申し上げます。4期生を
迎え、本学もいよいよ全学年が揃い、大学らしくなっ
てきました。4月6日には校友会が中心となり、歓
迎会が催されました。新入生は、教員や先輩たちと
和気藹藹と交流し、本学の学びの伝統・文化を創る
意欲と希望に満ちた生活をスタートさせています。

本学では、教育理念「人間力教育を根幹とした
医療人の育成」を掲げ、学生の一人ひとりが人間力
である「豊かな感性」「高潔な精神」「確かな知力」「他
者との共存」のそれぞれの力を如何なく発揮し、人
間力のある医療人として育ててほしいとの願いを込
めて日々の教育を実践しています。この教育理念の
実現には、大学と保護者の皆さまが共同して連携
体制をつくり、ともに育てることが重要であると思
えております。その機会が保護者説明会・懇談会で
あり、後援会です。新入生の保護者の皆さまには入
学式後に保護者説明会と後援会総会にもご出席を
頂き、本学の教育方針と連携方法、保護者の方々
への協力と学生支援等について説明させて頂きまし
た。ぜひ本学の趣旨にご理解を頂き、学生一人ひ
とりの学業支援を教員と共にできることを願って
おります。それにはまず、学生自身がどのような人間

に、また看護職に「育ちたい、なりたい、I will
be・・・」と自分の未来を描き、叶えようとする思い
が最も大切です。保護者の皆さまとともに学生の未
来につながる教育をめざしたいと思います。

今年度は、1期生（4年生）が初めて5月から9
月にかけて3科目の看護実習に向向きます。4年生
にとっては就職前の最終年の実習となります。また、
2月には4年間の成果として看護師国家試験、保健
師国家試験（一部の学生）が控えています。国家試
験の合格は並大抵のことではありません。大学とし
ても全力で学生を支援しますが、保護者の皆さまの
協力体制があつての合格への道です。ご支援をよろ
しくお願いしたいと思います。

また、11月19日には全学年を対象にした保護者
懇談会、同日2年生を対象にグローアップ・セレモ
ニーを計画しておりますので、本学の趣旨にご賛同
頂き、多くの保護者の皆さまのご出席をお願いし
たいと思います。

さらに、今年度は開学後の構想計画のもとに、1
年間かけて（12月完成予定）校舎設備等の増築・
改築工事を行うことになっております。今後も、札
幌保健医療大学へのご支援をよろしくお願い申し
上げます。

CONTENTS

学長挨拶	1
平成27年度活動紹介	2
在学生の声	4
学生支援について	5
学内行事報告	6
クラブ活動報告	7
平成28年度入試結果報告	8



札幌保健医療大学
Sapporo University of Health Sciences



平成27年度活動紹介



入学式

平成28年4月3日（日）、札幌市中央区の「かでの2.7ホール（北海道立道民活動センター）」において、平成28年度札幌保健医療大学入学式を挙行了しました。今年度は、4期生106名が入学し、新生活に向けて新たな一歩を踏み出しました。入学式終了後は、保護者説明会と札幌保健医療大学後援会の定期総会を開催し、多数の保護者の皆様にご出席いただきました。



新入生歓迎会

平成28年4月6日（水）、第3回目となる新入生歓迎会が開催されました。春休みから学友会が準備を行い、入学して間もない新入生に向けて、上級生が大学生活をより充実したものにするためのアドバイスなどを行いました。

学友会長の挨拶から始まり、上級生が新入生と学年の垣根を越えてフリートークで交流を深めた後、サークル紹介などを行い、毎年恒例のビンゴ大会ではビンゴのたびに各テーブルが盛り上がり、各学年の距離が一気に縮まった様に感じられました。

上級生にとっては初心を思い出す良い機会となり、新入生にとってはこれからの大学生活に向けての良いイメージ作りになったことと思います。



後援会の活動報告

札幌保健医療大学後援会の活動（報告）

本会は、平成25年4月に設立され、今期4年目を迎えます。会則に基づき会員（保護者）と大学との連携を図りながら、学生の学習及び生活環境の充実・支援などに努めております。ここでは、さきの定期総会の概要を以下に報告いたします。

平成28年度（第4回）定期総会

日時 平成28年4月3日（日）12：40～13：00 [入学式終了後]

場所 北海道立道民センター（かでの2.7）

内容 以下の議案について承認をいただきました。

議案1 平成27年度事業報告及び決算報告

一般教養図書（雑誌を含む）の購入、学友会活動（大学祭、クラブ活動）及びインフルエンザ予防接種費用（全額）の助成など。

議案2 平成27年度監査報告

議案3 平成28年度事業計画及び収支予算

これまでの継続事業に加え、備品（図書館・演習室）及び卒業記念品の購入並びに国家試験対策模擬試験費用の助成など。

議案4 役員改選

新役員10名（再任5名、新任5名）。

議案5 札幌保健医療大学後援会会則の一部改正

新たに学部長職位者を理事として選出規定（平成28年4月1日施行）。

平成27年度 保護者懇談会を開催しました

平成27年11月28日（土）、後援会主催の「平成27年度保護者懇談会」を本学キャンパスにて開催いたしました。今回は1・3年生の保護者を対象とし、当日は、道内各地より31組38名の保護者をお迎えいたしました。

後援会長、学長の挨拶および学科長による学科報告ののち、学年担任教員と保護者間において個別懇談を行い、学生一人ひとりの成績、修学、生活状況などを説明いたしました。

また、当日は小林清一学部長による医学セミナー「アレルギーの逆襲」、保護者向けの就職支援講座および校舎見学などをあわせて実施し、保護者の方から「参加して、とても良かったです。」と感想をいただきました。

平成28年度以降も開催予定です。





2年生対象の「グローアップ・セレモニー」を開催

平成27年10月31日（土）、11月に実施する2週間の「看護基礎実習Ⅱ（病院実習）」に先立ち、2年生と保護者を対象とした「グローアップ・セレモニー（Grow-up Ceremony）」を開催しました。このセレモニーは実際に患者さんを受け持つ「看護基礎実習Ⅱ」を前に、学生一人ひとりが自覚を新たにし、看護職への学びの意思を再確認する目的として開催したものです。

今回は現在、旭川医科大学病院の副院長兼看護部長として長年にわたり看護実践に尽力されている上田順子先生をお招きし、ご講演をいただきました。

看護師に求められる使命や役割、上田先生ご自身の新人時代や師長時代のエピソードを交えた経験談などを大変わかりやすく

お話ししてくださり、講演を聞いた学生からは「11月からの実習に対し、不安があったけれど、患者さんと共に考えていけるように頑張りたい」などの感想が寄せられ、意欲を高めることができたようです。

また、講演会終了後、セレモニーの記念として学長から「クリップボード」の贈呈がありました。患者の皆さまの個人情報を護り、学生の学習の手助けになることを願ったものです。実習施設では、札幌保健医療大学の名を背負っていることを自覚し、本学学生として品位ある言動をとるように、そして困難にぶつかったとき、今日の日を思い出し、志しを新たに果敢に立ち向かって欲しい。そんな思いが込められた記念品となっています。



1・2年生対象の「看護職の仕事について」の講演会を開催

平成27年10月27日（火）、1・2年生を対象とした「看護職の仕事について」の講演会を開催しました。この講演は、現在、看護師、助産師、保健師としてご活躍されている看護職者3名をお招きし、それぞれの専門職の魅力や、やりがいなどについてご自身の経験からお話しして頂き、学生が、自身の将来の方向性への示唆を得る目的

で、昨年に引き続き開催したものです。

「私の看護師としての歩み」、「助産師のしごと」、「看護職の仕事について～保健師～」の各テーマに沿って、資料をもとに大変わかりやすく、ユーモアを交えながらご講演いただき、学生たちも2時間にわたる講演時間があっという間に感じられたようです。話に聞き入る学生たちの真剣な眼差

しが印象的でした。

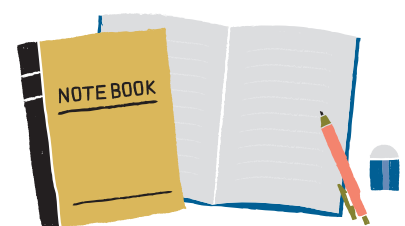
受講した学生は、卒業後のキャリアイメージを構築しはじめると同時に、自己を振り返りながら将来への希望を明確にし、各年次とも進級をむかえます。様々な看護体験を重ねながら卒業後のビジョンを鮮明にしたいと思います。



保健師教育について

本学では、定員100名のうち20名が選抜制で保健師国家試験受験資格を取得することができます。保健師をめざす学生は、3年次前期に選抜があります。選抜基準は「保健師への興味・関心及び学習意欲が認められること」、「2年次までに必修科目のすべての単位を修得し、全科

目の成績評価においてGPAが2.5以上であること」などです。選抜された学生は、公衆衛生看護学に関する科目および指定する科目について学びます。それらの科目の単位を修得した人は、保健師の国家試験受験資格を取得することができます。



在学生の声

2年 橘 優汰 (旭川西高校出身)



私は本学に入学してから1年間、本学に充実した1年間を過ごせたと感じています。勉学は無論のこと、アルバイトや初めての1人暮らし、サークル活動、学友会の活動など沢山のことに挑戦したり、励みました。初めは小中高の学んでいた学業面とはまったく違い、看護に必要な技術と教養を学ぶことや、学校生活に不安な気持ちもありましたが、周りに居てくれる仲間と助け合ったり、時には競い合ったりとお互いに刺激合ったりした事や、先生方と事務の皆さんの優しさ、離れていても遠くながら応援してくれる家族のおかげで、沢山のことに挑戦し、努力してこられた事に本当に感謝しかない1年間であったと、2年生になった時に改めて実感しました。

1年間学んだこと、経験や思いを忘れず、今後の大学生活に繋げて看護師を目指していきたいと強く思えるようになります。これからも一層努力していきたいと思えます。

3年 小山内未夢 (苫小牧南高校出身)



この1年間、私は12月に行われた2週間の実習に向けて友達と一緒に学習したり、技術の練習を行ってきました。

初めて患者さんにお会いした時や援助を行った時はとても緊張し、戸惑うこともありましたが、これまで学習してきたことを思い出したり、先生や看護指導者の方から助言を頂きながら何とか乗り越えることができました。実習では、患者さんの苦痛を最小限にし、安楽な気持ちになってもらうことを目標に掲げて、話をお聞きしたり、援助計画を立てて実践しました。患者さんから「ありがとう」という言葉をもらった時は、私の患者さんに対する気持ちが伝わったのだと感じてとてもうれしかったです。

実習では、患者さんのこれまでの暮らしや入院生活に対する思いをお聞きして、患者さんが大切にしていることを理解し、それを尊重することで心身の状態を良好にする援助を行うことができるということを学びました。

3年次では長期間の実習が開始されます。先生や看護指導者の方に支えてもらいながら仲間と協力し合って、実りのあるものにしていきたいと思えます。

4年 宮崎純良嘉 (札幌大谷高校出身)



私が1年間を振り返って印象に残っていることは、3年次にあった領域別実習です。

3年次の領域別実習を通して学んだことは、1つ1つの実習を重ねるごとに2年次にあった看護基礎実習Ⅱの時よりも、患者さんとコミュニケーションがスムーズにできるようになったり、日々の関わりや看護援助の中で患者さんの変化に気づくことができ、その人に合った看護援助を考えられるようになったことです。

領域別実習が始まった頃は、患者さんとコミュニケーションを図ることに慣れていなかったり、必要な看護援助はできてもその人に合った援助を上手くできないことがありましたが、実習を重ねるごとに毎日自分自身が行った看護の振り返りをし、事前に改善策を考えようという実習に臨んでいくことで個性のある看護を提供できるようになったと感じました。

4年次は今回の領域別実習で学んだことを残りの実習でも活かしていきながら、就職活動や国家試験勉強に励んでいきたいと思えます。

2学年担任より

2学年担任教員 近藤 明代



入学して1年を迎えます。看護の道を志して入学したものの、今までとは異なる大学生活に戸惑った学生も多かったと思います。

親元を離れ、初めての一人暮らしを始めた学生にとっては、家族の存在の大きさを実感しつつ、寂しさを抱えてのスタートだったと思います。また、学習面では90分の授業や次々と出される課題レポートに戸惑い、勉強の仕方に悩む声も聞かれました。しかし、徐々にその生活にも慣れたようで、元気に過ごす姿を担任は安心して見ていました。

そのような中で迎えた、初めての定期試験や看護基礎実習Ⅰでは、一喜一憂ながらも自己の課題が明確になったように思います。今後も自分の課題を忘れずに学び続けることを期待しています。

4月からは2年生になり、ますます専門科目の授業や演習が増え、今まで以上に計画的に学習、行動することが求められます。不安や悩みを抱えることもあると思いますが「私は何をするために入学してきたのか？」と自分自身に問いかけ、諦めず自分の目標に向かって努力されることを願っています。

3学年担任より

3学年担任教員 相馬 幸恵



この1年を振り返り、2期生一人ひとりの成長を実感しています。昨年12月の看護基礎実習Ⅱでは、実習に臨むに当たりどれほど準備をしても不安は尽きることなく、実習が始まってからも緊張の連続、実習記録等多くの課題を抱え、心身ともに大変な2週間だったと思います。しかし、患者さんに関心を寄せ真摯に向き合うことで、実習指導看護師からの的確な助言を受け、学生同士協力し合い、乗り越えていました。患者さんからの励みや労いの言葉は、これから続く看護の道のりで大きな支えとなり、いつまでも忘れ得ぬ存在となることなのでしょう。

また、専門知識の不足、看護技術の未熟さなど自己の課題が明確になっただけでなく、計画的に学習を進めていくこと、自己管理の大切さもあらためて理解できたと思えます。

そして、実行委員会を中心に行った体育大会、大学祭では、企画から当日の運営まで、自分たちの力で作り上げていくことの醍醐味や達成感を体験することができたのではないのでしょうか。

3年次では領域別実習が始まります。決意を新たに、目標に向かってどのような成長を見せてくれるのか、担任一同楽しみにしています。

学生支援について

キャリア支援について

本学は、学生一人ひとりが、自己の目標を明確にして生涯学習し続ける看護者の育成を目指しています。本学のキャリア支援は、看護職者として歩み出す関門である「国家試験対策支援」、そして卒業後のキャリア形成としての「進学・就職支援」を行っています。それぞれ学年進行に対応した活動を計画し実施しています。

本学は、学生一人ひとりが、自己の目標を明確にして生涯学習し続ける看護者の育成を目指しています。本学のキャリア支援は、看護職者として歩み出す関門である「国家試験対策支援」、そして卒業後のキャリア形成としての「進学・就職支援」を行っています。それぞれ学年進行に対応した活動を計画し実施しています。

	国家試験対策支援	進学・就職活動支援
1年次	入学時ガイダンスでは看護師、保健師、助産師の看護職を目指して入学した学生に国家試験の概要をわかりやすく説明します。学生は、日々の科目を確実に修得する意義を理解します。	11月には看護師、保健師、助産師の先輩を講師として招き、実際の仕事に関する講話を聴きます。学生は、それぞれの職種についての理解を深め、自分の進路を考える参考とします。
2年次	4月のガイダンスでは、「国家試験対策ガイダンス-2年次用-」リーフレットをもとに、2年次の学習の特徴と国家試験について理解を深めます。学生国家試験対策委員会を中心に話し合い、秋には低学年模擬試験に挑戦します。	4月のガイダンスでは、「就職活動ガイダンス-2年次用-」リーフレットをもとに、将来の進路を自分で考え、自分で選択する大切さを理解します。さらに、進学・就職活動の基本を学びます。
3年次	4月ガイダンスでは、業者による「国家試験ガイダンス」を受講し、秋には模試・補講を体験します。実習スケジュールに対応した実習の事前学習課題に取り組み、実習での学びが国家試験対策に繋がるように学習します。また、学内にはいつでも利用できる国家試験WEBサービスや10回にわたるDVD聴講講義の環境が整っています。	4月と11月に業者による「就職セミナー」を開催します。1回目は、就職活動に向けての心構えやその第一歩となる実習マナーと身だしなみ等を受講します。2回目は就職事情や就職活動の進め方について受講します。進学や就職の相談は、担任はもちろんのこと、キャリア支援室常駐の職員にいつでも相談できます。
4年次	本格的な国家試験対策がはじまる4年次では看護課題研究の担当教員が4名の学生を丁寧に個別指導します。業者による模試・補講の他に、学内教員による補講を取り入れながら全面的にサポートする環境を整えています。	4月ガイダンス時には「就職活動のびき」の冊子をもとに就職活動の一連のプロセスをわかりやすく説明します。看護課題研究担当教員、職員、キャリア開発委員が連携して学生の就職活動をサポートします。また、業者による小論文、面接対策講座を開催し安心して就職試験に臨める体制づくりをしています。



図書館について

図書館は、開学と同時にスタートし4年目を迎えました。現在、図書約19,000冊、学術雑誌92タイトル、視聴覚資料約800点等の蔵書を有しています。蔵書数こそまだ多くはありませんが、電子ジャーナルや電子書籍を積極的に取入れ、従来の紙を媒体とする情報と電子機器を媒体とする情報のどちらにもアクセスしやすいコンパクトで機能的な図書館を目指しています。

また、図書館では多くの本を読んでもらおうと様々な取り組みを行っています。昨

年度は、「図書リクエストキャンペーン」と「Book Hunting」を実施しました。図書リクエストキャンペーンは、常時受け付けている図書購入希望をPRし広くリクエストを募るイベントで、合計105冊を購入しました。Book Huntingは、書店に出向き図書館に置いて欲しい本を直接選ぶイベントで、合計163冊を購入しました。両イベントで選ばれた本はバラエティに富み、人気も上々でした。

今後も豊かな人間性を育む読書活動を支

援する様々な取り組みを行っていきたいと思います。なお、図書リクエストキャンペーンとBook Huntingで選ばれた本は、後援会からの助成金で購入しました。



札幌保健医療大学学業成績優秀者給付奨学金について

本学では、学力、人物ともに優秀で他の学生の模範となる学生を選考し、学生の経済的負担の軽減と看護専門職の育成を目的とした授業料減免型の給付制奨学金を支給

します。2年次生以降を対象として人数は若干名です。該当者は後期の授業料の一部が免除となります。卒業後においても返還の義務はありません。学業成績優秀者の決

定は6月を予定しており、平成27年度は2年次生、3年次生の各2名に給付されました。

祭 大学祭について

3年
金澤 竜輔 (函館稜北高校出身)



平成27年10月17日(土)、18日(日)の2日間、学生や教職員はもちろんのこと、地域の皆様、出店やステージ発表に関わっていただいた関係者の皆様のご理解、ご協力のもと前年以上の盛り上がりを見せ無事に大学祭を開催することができました。

歴史がまだまだ浅い我が校は、2回目の大学祭ということでまだまだ手探り状態で準備、そして当日の運営を行っています。

しかしながら、ゼロからのスタートとい

うわけではありません。先輩たちから受け継いだ昨年の大学祭で出た反省を活かすように改善していくか、特に先ほども述べたように、歴史の浅い我が校は周知度も低く、どうしたら人を集めることができるのか考えました。その結果、今年度は地域の皆様にもたくさん参加していただき家族連れの方々が多く、会場には明るい笑い声が絶えずとても和やかな雰囲気だったので今でも覚えています。

たくさんの人たちが一つのことに向かって足並みを揃えて進



体育大会について 3年 小川 翼 (帯広緑陽高校出身)

私は平成27年5月15日(金)に札幌市東区にある「つどーむ」にて行われた体育大会で企画、運営の立場で関わらせてもらいました。昨年は「他者と共存することを意識して、学生個々が主体的に参加し、学年の垣根を越えた交流を行い、協調性を養う」ことを目的にして体育大会に臨みました。

準備の段階から1年生がスタッフとして一生懸命に動いてくれたので、中心で準備を進めていた私たちの学年はとても助かりました。体育大会本番でも、それぞれの学生が玉入れ、綱引き、長縄跳び、リレーを一生懸命にプレーして、その一生懸命さから他学年との交流が生まれ、体育大会が終わる頃にはチームが1つにまとまっていました。また、競技中の笑顔の数が、最初はみんな表情が硬かったせいか、あまり見られませんでした。終わる頃にはみんなの笑顔が溢れ、最後のリレーのときにはみんなが声を出しながら自分たちのチームを応援している姿は、まさに



チーム一丸でした。体育大会終了後に各チームの集合写真を撮る際には、自分たちの色を出すような演出してくれるチームもあり、とても内容の濃い体育大会にすることができたと思います。



オープンキャンパスについて

平成27年度のオープンキャンパスは、平成27年6月20日(土)、8月8日(土)、8月9日(日)、10月17日(土)、平成28年3月27日(日)の計5回開催し、述べ564名(保護者含む)の方が参加しました。全体概要説明や入試概要説明、体験演習や学食体験など様々なプログラムに参加いただき、10月は大学祭との同時開催で、地域の方との交流もあり、アンケート結果も概ね好評でした。特に本学在学生在が学生ボランティアとして参加した先輩とのトークはたくさんの方に満足していただけたようです。

平成28年度も本学や看護の魅力について体感していただけるプログラムを企画し、開催する予定です。



クラブ活動報告

本学では、人間力のある看護職の育成をめざしており、クラブ活動は学生たちの人間形成の成長に大きな役割を担っていると考えています。学生たちの自主的な活動により、開学4年目で現在、体育系7団体、文化系8団体の同好会・愛好会が活動しています。4期生を迎え、更に活発な活動が期待されます。

バレーボール

代表 久保 綾乃
部員数 ♂10 ♀24
活動日 週1回

私たちは、週1回男女混合で楽しく活動しています。経験者も多くなく、初心者者がほとんどです。活動内容は、主にゲーム形式の練習をして汗を流しています。学年の上下関係なく活動しているので、参加しやすい環境です。基本、自由参加なので勉強との両立もでき、他のクラブ活動との掛け持ちも可能です。

少しでも興味のある方は一度見学に来て下さい。経験者、初心者を問わず、大歓迎です。私たちと一緒に大学生活をバレーボールで楽しみましょう！

バドミントン

代表 金石 葵衣
部員数 ♂13 ♀21
活動日 毎週火曜日

私達バドミントンサークルは、「楽しい」ことを念頭に置いて活動しています。バドミントン経験者は少ないですが、その経験者の方達が丁寧に教えてくれますので、初心者で自信がない方も、自信が出るまで教えてくれます。そのため、初心者が多く、誰でも参加しやすい環境と雰囲気であると思います。また、ラケットやシャトルはサークルの方で準備していますので、ラケットを持ってない方でも心配しないでください！更に、バドミントンサークルは、人数が多いサークルなので、友達作りには最適です！先輩、後輩、男女関係なく仲の良いサークルなので、気軽に来てみてください。こちら楽しみしています。

フットサル

代表 小川 翼
部員数 ♂20 ♀15
活動日 週1回

私たちは体を動かしたいという学生が集まり、週1回学校の体育館でフットサルをしています。ほとんどの学生が初心者で、活動をしていくうちに上手くなってきました。

活動の内容はゲームといわれる試合形式のものがほとんどで、男女で2チームずつ作り、男子同士のゲームと女子同士のゲームを交互に行っています。年度の初めはボールに慣れるよう簡単な基礎練習を取り入れていました。

昨年度からは女子部員の数も増え、気が増してきました。面白い部員も多く、笑いが溢れるサークルです。見学だけでもいいので、ぜひ一度体育館に足を運んでみてください！

卓球

代表 三橋 彩加
部員数 ♂5 ♀8
活動日 週1回

私達卓球サークルは、現在男子5名、女子8名の計13名で活動しています。活動日は特に決まっていますが、週1回のペースで活動しています。ほとんどのメンバーが初心者です。経験者が丁寧に教えながら、みんなで楽しく卓球をしています。

夏にはBBQをしたり、ご飯を食べに行ったりなどの行事もあり、男女仲が良いです。昨年度は大会にも出場しました。大会に出る人も出ない人も、それぞれの目標に向けて練習しています。経験者だけでなく、未経験者も大歓迎です。少しでも気になる人や興味のある人は気軽に見学に来て下さい。

文芸愛好会

代表 中村しず香
部員数 8
活動日 週1回(不定期)

文芸愛好会は、基本的に自由な活動で参加も自由です。例えば、お昼休みなどを利用して集まり、好きな本について語り合ったり、長期休暇を利用して、執筆活動を行うなどしています。ですから本を読むことが好きな方！これから本を読む時間を作りたい方！本を読まなくても仲間がほしい方…どなたでも大歓迎です。また、看護学生は毎日勉強が忙しく、不安になることもあるかと思いますが、先輩達と話すことで悩みが解消されることもありますよ。ぜひ、執筆活動をしたい方から相談相手がほしい方まで、一緒に楽しく活動していきましょう。



体育系 7

バレーボール、バスケットボール、バドミントン、B.S.Ball(野球/ソフトボール)、テニス、フットサル、卓球

文化系 8

写真、軽音楽、文芸、IVY(海外ボランティア/交流)、茶道、看護技術向上研究会、Medical Movies(M&Ms)、Table Game Circle(テーブルゲーム)

学友会長のあいさつ

2年 沖津 祐斗(静内高校出身)

みなさんは学友会という組織をご存知でしょうか？名前は知っていても、どのような活動をしているのか知らない方も多いと思います。

私たち学友会の主な活動内容は学生総会や各イベントの主催、学生生活の改善などです。4年間という限られた大学生活の中で、学生が素敵な思い出を残すため、そして、ここ札幌保健医療

大学の歴史を築き上げていくため、私たちは日々奮闘しています。

昨年度は札幌保健医療大学の2大イベントである体育大会と大学祭を無事開催し、成功させることができました。企画が成功し、それまでの努力が実を結んだ時は喜びや達成感でいっぱいです。

今年度も新たなチャレンジをし、みなさんの学生生活がより充実したものになるように、学友会一同、精いっぱい頑張ります。

看護技術向上研究会の活動

代表 藤原 更紗 部員数 ♂3 ♀54 活動日 不定期

看護技術向上研究会では、看護技術の向上を目的として、不定期に活動しています。身につけた看護技術を大学祭や夏祭りなどで提供し、地域社会への健康にも貢献する事を一つの目的としています。今年度は町内会の夏祭りに参加し、健康相談の手伝いや健康体操の披露を行い、学外でも積極的に活動を行いました。

地域社会との交流や他学年と共に行う演習は、それぞれの看護技術、コミュニケーション力の向上が見込めます。きっと多くの学びを得る事ができると思うので、一緒に活動してみませんか？



平成28年度 入試結果報告

入試形態別志願者・受験者・合格者・入学者数

入試区分	募集人数	平成27年度				
		志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
推薦入試	45	60	59	42	42	1.4倍
一般入試前期	40	294	280	137	54	2.0倍
一般入試後期	5	46	38	3	2	12.7倍
センター前期	7	91	87	40	6	2.2倍
センター後期	3	10	7	2	2	3.5倍
合計	100	501	471	224	106	2.1倍

平成29年度 入試概要

平成29年度 札幌保健医療大学看護学部 入学試験概要


学 科	定 員	募 集 人 員				学 位	資 格
		推薦入学試験 (公募・指定校)	一般入学試験		センター試験利用 入学試験		
			前 期	後 期			
看護学科	100名(男・女)	45名	43名	5名	7名	学士(看護学)	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 (選択制:20名)

【入試日程等】

種別 項目	公募制推薦入学試験 指定校制推薦入学試験	一般入学試験		センター試験利用入学試験
		前 期	後 期	
出願期間	平成28年11月1日(火) ～11月7日(月)必着	平成29年1月6日(金) ～1月26日(木)必着	平成29年2月13日(月) ～2月27日(月)必着	平成29年1月6日(金) ～1月26日(木)必着
試験日	平成28年11月12日(土)	平成29年2月4日(土)	平成29年3月4日(土)	個別面接試験 平成29年2月5日(日)
合格発表日	平成28年11月18日(金)	平成29年2月10日(金)	平成29年3月10日(金)	平成29年2月10日(金)
入学手續締切日 【一括納入】	平成28年12月2日(金)	平成29年2月24日(金)	平成29年3月22日(水)	平成29年2月24日(金)
試験科目 点 間	(1)小論文試験 60分 (2)個人面接試験 ○公募制の出願資格 ・評定平均値3.5以上 ・現役で本学専願 ○指定校推薦入学試験※1	【学科試験科目】 3科目300点満点(1科目60分) 1.必須科目 (1)国語:「国語総合(古文・漢文を除く)」 (2)英語: 「コミュニケーション英語Ⅰ」 「コミュニケーション英語Ⅱ」 「英語表現Ⅰ」 2.選択科目【2教科3科目から1科目選択】 (1)数学:「数学Ⅰ・数学A」 (2)理科:「生物基礎」または「化学基礎」 【面接試験】(必須) ・集団面接試験	【学科試験科目】 3科目300点満点(1科目60分) 1.必須科目 (1)国語:「国語総合(古文・漢文を除く)」 (2)英語: 「コミュニケーション英語Ⅰ」 「コミュニケーション英語Ⅱ」 「英語表現Ⅰ」 2.選択科目【2教科3科目から1科目選択】 (1)数学:「数学Ⅰ・数学A」 (2)理科:「生物基礎」または「化学基礎」 【面接試験】(必須) ・集団面接試験	【大学入試センター試験科目】 3科目300点満点 1.必須科目 (1)国語:「国語(近代以降の文章)」 (2)英語:「英語(リスニングテスト含む)」※2 2.選択科目【2教科5科目から1科目選択】※3 (1)数学:「数学Ⅰ・数学A」 (2)理科:・理科①:「生物基礎・化学基礎・物理基礎」から2つの基礎科目を選択し、1科目として取り扱う ・理科②:「生物」、「化学」、「物理」 【個別面接試験】(必須) ・個人面接試験
試験場※4	本 学	本学、帯広、函館	本 学	本学、帯広、函館 (個別面接試験)
入学検定料	30,000円	30,000円	30,000円	10,000円

※1 指定校推薦入学試験の受験資格、選考方法等は、指定校(高等学校)に直接通知します。
 ※2 大学入試センター試験利用入学試験の「英語」の得点は、100点に圧縮して合否判定に使用します。
 ※3 大学入試センター試験利用入学試験の選択科目については、(1)数学、(2)理科、2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。
 ※4 試験場については、(1)本学:札幌保健医療大学【全入試区分】
 (2)帯広:帯広経済センタービル【一般入学試験前期、大学入試センター試験利用入学試験】
 (3)函館:函館市勤労者総合福祉センター(サン・リフレ函館)【一般入学試験前期、大学入試センター試験利用入学試験】

年間行事	内容
4月	入学式／新入生歓迎会
5月	開学記念日／体育大会／ 3、4年次臨地実習開始
6月	第1回オープンキャンパス
7月	1年次看護基礎実習Ⅰ
8月	第2、3回オープンキャンパス
9月	前期定期試験
10月	大学祭／第4回オープンキャンパス
11月	グロウアップセレモニー／ 2年次看護基礎実習Ⅱ
12月	
1月	
2月	後期定期試験
3月	学位記授与式／ 第5回オープンキャンパス



編集後記

いつも本学の教育にご理解とご支援を賜りありがとうございます。札幌保健医療大学広報誌「WILL」の第3号をお届けします。開学から4年、完成年度となる2016年、新入生106名を迎えました。学内どこに行っても学生の明るい声が響きわたり、ますます活気づいております。この3号では、1号2号に続いて学内の様子をお伝えできるよう、行事に関する写真、記事、学生や教員の声をたくさん掲載しております。是非、じっくりと読んでいただければと思います。札幌保健医療大学の歴史はまだはじまったばかりですが、学生達には、夢へと続く道を一步一步、歩みを進め、自分達が理想とする大学を創り上げていってほしいです。豊かな大学生活を送ることができるよう、教職員一同、学習環境を整え支援してまいります。これからも学生を温かく見守っていただき、応援をよろしくお願いいたします。